

教育目標「かしこく たくましく あたたかく」【一人一人が学ぶ喜びを実感し、笑顔あふれる学校】



# せなみっこ

第5号  
令和4年7月22日  
村上市立  
瀬波小学校



瀬波小HP

夏休みの合い言葉は『「夢や目標」に向かってチャレンジ!』

～ほめて、認めて「自己肯定感」と「挑戦する力」を育む夏休み～

校長 若月 隆雄

7月といえば、七夕と夏休み。七夕は日本独自の行事で、竹笹に願いを込めた色とりどりの短冊を飾る風習が、日本の夏の風景をより素敵に鮮やかに演出してくれます。

なぜ竹笹に願い事を飾るのでしょうか。実は、竹は冬の寒さにも負けず、真っ直ぐ育つ生命力が備わっていることから、昔から神聖な力が宿っていると信じられており、願い事を飾るのに用いられてきたそうです。

さて、この1学期を振り返ってみれば、新型コロナウイルス感染防止対策×熱中症対策をしながら、子どもたちは、保護者の皆様や地域の皆様に支えられ、様々な教育活動や体験などを通して大きく成長することができたと思います。本当にありがとうございました。

いよいよ明日から夏休みになります。「夢や目標」を強く意識して、学校ではできない様々なことに「チャレンジ（挑戦）」して体験を通して更なる成長をしてほしいと願っています。

子どもが自ら進んでチャレンジをする姿勢には、「自己肯定感」が大きく関わっていると言われています。ありのままの自分を大切にできる気持ち、自分をまるごと肯定できる気持ちである「自己肯定感」は自信につながり、「よし、やってみよう」とチャレンジすることにつながります。

また、勉強でもスポーツにおいても、失敗したり、困難にぶつかったりすることが多くあります。それを乗り越えるためには、「自己肯定感」とともに、「挑戦する力」が必要になります。「挑戦する力」とは、今までの知識や経験を生かし、他者と協力して夢や目標をかなえたり、困難を乗り越えたりする力であり、成長するためにとっても必要な力です。

「夢や目標」に向かって挑戦し続けるような「挑戦する力」は、「やり抜く力」を生むと言われています。研究者によれば、「やり抜く力」は、生まれ持った力ではなく、失敗を恐れず挑戦し続けることで後天的に身に付く力だそうです。

夏休みは、様々な体験で、うまくいったら大げさに、子どもに分かるようにほめたり、認めたりしてあげてください。さらに、たとえ失敗してもチャレンジしたことそのものをほめてあげてください。どんなときもほめてもらえ、認められることで「自己肯定感」は高まります。そして、様々なことに「チャレンジ」できるように励まし、子どもの力を信じて挑戦し続けさせる支援をすることで、「挑戦する力」が高まり、「やり抜く力」が身に付いていきます。

夏休みは、様々なことにチャレンジして、七夕の願いを飾る竹のように、困難にも負けず真っ直ぐ育ち、たくましく生きる力を身に付け成長する子どもたちになることを願っています・・・。事故や怪我のない、安全で楽しい夏休みにしてほしいと思います。2学期の始業式（8/26）に元気なせなみっこに会えることを楽しみにしています。

